

## 健康ちえの輪

胃腸の悩み

17年前に人間ドックで胃にポリープが見つかりました。以後毎年1回は胃カメラの検査を受けています。ポリープは年々数が増えて、組織検査(精検)を受けたこともありすが、特に異常はないとのことでした。ポリープが大きくなったり、たまたまはしてはいないようです。

胃の痛みやもたれ、胸焼けなどの症状もほとんどありません。10年ほど前に乳がんの手術を受け、その後は血液検査、CTなどの検査、検診を時々受けています。今のところ経過は良好です。しかし、再発・転移するのではないかと、再発・転移するのではないかという心配、不安もどこかで感じています。

## 胃のポリープが増える



胃のポリープがこれから悪性に転じるようなことがあるとすれば、切除した方がよいのでしょうか。そのままにしておいても、自然に消えることがあるのでしょうか。何かよい治療方法があれば、教えてください。

ふだんは便秘がちで、数年前にはひどい便秘で病院に駆け込んだこともあります。薬局で勧められた漢方便秘薬(錠剤)と植物性便秘薬(顆粒)の2種類を、日によって量を加減して飲んでいました。

(あじさい・東御市・73歳)

## アドバイス 悪性化の心配ない種類

胃のポリープは、粘膜の一部が異常に増殖し、盛り上がりつつできるものです。性質の違いから、腺腫性ポリープ、過形成性ポリープ、胃底腺ポリープの三つに主に分けられます。

腺腫性ポリープは男性に多く、大きくなるとがんが合併する可能性が高くなります。このため経過観察を要し、がんの恐れがあれば内視鏡による切除が必要です。過形成性ポリープは、30代以上で年齢

とともに増加する傾向があります。ポリープの表面は赤く、表面がただれて出血することもあります。大きくなる時は内視鏡で切除します。

一方、胃底腺ポリープは中高年の女性に多く、多発しま

すが大きくはならず、悪性化もしないため、放置してよいポリープです。あじさいさんの場合は、この胃底腺ポリープと思われるので、心配する必要はないでしょう。

ご相談の中にあつた乳がんは、手術から10年が安心してよい時期の目安ですが、個々に条件が異なるため、主治医

の判断が何より大事です。便通についてもお悩みのようです。近年は大腸がんが、女性のかかるがんの第1位となっております。まず大腸の検査を受けて異常がないことを確認した上で、便秘への対応を考えるのがよいと思います。

(神村盛宣 長野市・伊勢宮胃腸外科院長)